

受付番号票貼付欄

株式会社変更登記申請書

1. 会社法人等番号

フリガナ

1. 本店

1. 登記の事由

令和 年 月 日清算人及び代表清算人の就任
会社継続
取締役、代表取締役、監査役の変更
監査役の監査の範囲を会計に関するものに限定する旨の
定款の定めがある旨

1. 登記すべき事項

別紙のとおり
(※別紙は4ページ参照。)

1. 登録免許税額

金 円

1. 添付書類

定款	1 通
株主総会議事録	1 通
株主の氏名又は名称、住所及び議決権数等を証する書面（株主リスト）	1 通
取締役会議事録	1 通
就任承諾書	通
印鑑証明書	通
本人確認証明書	通
監査役の監査の範囲を会計に関するものに限定する旨の定款の定めがあることを証する書面	1 通
委任状	1 通

上記のとおり登記の申請をします。

令和 年 月 日

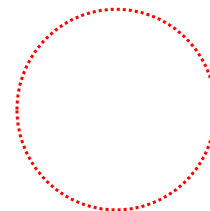
申請人 (本店)
(商号)

代表取締役 (住所)
(氏名)

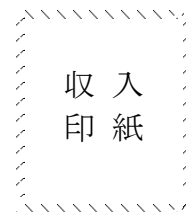
連絡先の電話番号

法務局 支局 御中
出張所

登記所届出印↓



収入印紙貼付台紙



別紙

(一例です。会社の実情にあわせて作成してください。)

(※別紙を使用せず、登記すべき事項を直接申請書に記載することも可能です。)

「役員に関する事項」

「資格」 清算人

「氏名」 ○○○○

「役員に関する事項」

「資格」 清算人

「氏名」 ○○○○

「役員に関する事項」

「資格」 清算人

「氏名」 ○○○○

「役員に関する事項」

「資格」 代表清算人

「住所」 ○県○市○町○丁目○番○号

「氏名」 ○○○○

「会社継続」

令和○年○月○日会社継続

「役員に関する事項」

「資格」 取締役

「氏名」 ○○○○

「原因年月日」 令和○年○月○日就任

「役員に関する事項」

「資格」 取締役

「氏名」 ○○○○

「原因年月日」 令和○年○月○日就任

「役員に関する事項」

「資格」 取締役

「氏名」 ○○○○

「原因年月日」 令和○年○月○日就任

「役員に関する事項」

「資格」 代表取締役

「住所」 ○県○市○町○丁目○番○号

「氏名」 ○○○○

「原因年月日」 令和○年○月○日就任

「役員に関する事項」

「資格」 監査役

「氏名」 ○○○○

「原因年月日」 令和○年○月○日退任

「役員に関する事項」

「資格」 監査役

「氏名」 ○○○○

「原因年月日」 令和○年○月○日就任

「役員に関する事項」 (注1)

「資格」 監査役の監査の範囲に関する事項

「役員に関するその他の事項」

監査役の監査の範囲を会計に関するものに限定する旨の定款の定めがある

「取締役会設置会社に関する事項」 (注2)

取締役会設置会社

「原因年月日」 令和○年○月○日設定

- (注) 1 公開会社でない会社は、監査役会設置会社及び会計監査人設置会社を除き、定款に「監査役
の監査の範囲を会計に関するものに限定する」旨の定めを置くことができ、当該定めを置いた
場合(会社法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第53条により会社法第389条第
1項の規定による定めがあるものとみなされた場合を含む。)には、その旨の記載が必要です。
- 2 取締役会設置会社の登記は解散時に職権抹消されており、取締役会設置会社として継続する
ときは、設定の旨の登記が必要です。

株主総会議事録

(一例です。会社の実情に合わせて作成してください。)

臨時株主総会議事録

令和〇年〇月〇日午後〇時〇分から、当会社の本店において臨時株主総会を開催した。

株主の総数	〇〇名
発行済株式の総数	〇〇〇〇株
議決権を行使することができる株主の数	〇〇名
議決権を行使することができる株主の議決権の数	〇〇〇〇個
出席株主数（委任状による者を含む）	〇〇名
出席株主の議決権の数	〇〇〇〇個
出席清算人	〇〇〇〇（議長兼議事録作成者）
同	〇〇〇〇
同	〇〇〇〇
出席監査役	〇〇〇〇

以上により本総会は適法に成立したので、代表清算人〇〇〇〇は議長席に着き、本総会は適法に成立したので、開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

第1号議案 会社継続の件

議長は、「当会社は令和〇年〇月〇日付けをもって会社法第472条第1項の規定により解散とみなされたが、今回これを解散前の状態に復活し、会社を継続して社運の進展を図ることとしてはどうか」と述べ、その承認を求めたところ、満場一致をもって会社を継続することについて承認可決した。（注1）

第2号議案 取締役及び監査役選任の件

議長は、会社継続に伴い、改めて取締役を選任する必要がある、また、監査役が定款の規定により令和〇年〇月〇日任期満了となっているためこれを選任する必要がある旨を述べ、その選出方法について議場に諮ったところ、出席株主中より議長の指名に一任したい旨の発言があり、議長は、その可否を議場に諮ったところ、満場これに賛成したので、議長は、次の者を指名し、満場一致をもって選任可決した。

なお、被選任者はいずれも席上その就任を承諾した。（注2）

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号	
取締役	〇〇〇〇
〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号	
同	〇〇〇〇
〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号	
同	〇〇〇〇
〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号	
監査役	〇〇〇〇

(注) 公開会社でない会社は、監査役会設置会社及び会計監査人設置会社を除き、定款に「監査役の監査の範囲を会計に関するものに限定する」旨の定めを置くことができ、当該定めを置いた場合（会社法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第53条により会社法第389条第1項の規定による定めがあるものとみなされた場合を含む。）には、その旨も登記する必要があります。

以上をもって議事を終了したので、議長は閉会を宣し、午後〇時〇分散会した。

上記決議を明確にするため、議長、出席取締役及び出席監査役において、次に記名押

印する。

令和〇年〇月〇日

〇〇株式会社臨時株主総会

議長代表清算人 兼 取締役	〇〇〇〇	①
取締役	〇〇〇〇	①
同	〇〇〇〇	①
監査役	〇〇〇〇	①

- (注) 1 解散前に取締役会非設置会社であった会社が、会社継続に伴い取締役会設置会社になる場合は、取締役会を置く旨の定款変更決議が必要となります。また、取締役会を置く旨の定めを置いた場合には、監査役を置かなければならないため、併せて監査役を置く旨の定款変更決議及び監査役の選任決議が必要となります。
- 2 株主総会の席上で被選任者が就任を承諾し、その旨の記載及び被選任者の住所の記載が議事録にある場合には、申請書に別途就任承諾書を添付することを要しません。この場合、申請書には、「就任承諾書は、株主総会議事録の記載を援用する。」と記載してください。
- なお、就任承諾書の添付を省略する場合においても、取締役会設置会社では、新たに就任する代表取締役につき、市町村長が作成した印鑑証明書の添付が、また、他の新たに就任する取締役につき、住民票記載事項証明書等の本人確認証明書の添付が必要です（市町村長が作成した印鑑証明書を添付する役員については、当該印鑑証明書の添付で足りる。）。

- (注) 1 株主総会、種類株主総会、株主全員の同意、種類株主全員の同意のいずれかを記載してください。種類株主総会等の場合は、対象となる種類株式も記載してください。
- 2 株主総会等の年月日を記載してください。
- 3 全議案又は対象となる議案を記載してください。総株主等の同意を要する場合は、記載不要です。
- 4 自己株式等の議決権を有しない株式は記載しません。ただし、議決権を有していれば、株主総会に出席しなかった株主や議決権を行使しなかった株主も記載してください。
- 5 株主の氏名等は、総議決権数に対する各株主の議決権数の割合が高い順に記載します。記載を要する株主の数は、
- ① 議決権の割合の合計が、3分の2に達するまで
 - ② 10位に達するまでのいずれか少ない人数の株主を記載してください。
- なお、同順位の株主が複数いることなどにより②の株主が10名以上いる場合は、その株主全てを任意の形式の別紙を作成して記載してください（例：同順位1位の方が20名いる場合は20名全員を記載します。次の方は21位ですので、当該記載で10位に達したこととなります。）。
- 6 種類株式発行会社については、種類株式の種類及び種類ごとの数も記載してください。種類株式の名称は、登記された名称を記載してください。
- 7 株主全員の同意・種類株主全員の同意の場合には、議決権数の割合の欄の記載は不要です。
- 8 総議決権数にも、自己株式等の議決権を有しない株式は加算しないでください。
- 9 証明書は、登記申請人（会社の代表者）名義で作成してください（ただし、組織再編の登記の場合には、例外もあります。詳しくは法務省ホームページをご覧ください。）。

取締役会議事録

(一例です。会社の実情に合わせて作成してください。)

取締役会議事録

令和〇年〇月〇日午後〇時〇分当会社の本店において、取締役〇名（総取締役数〇名）及び監査役〇名（総監査役数〇名）出席のもとに、取締役会を開催し、下記議案につき可決確定の上、午後〇時〇分散会した。

1 代表取締役選定の件

取締役〇〇〇〇は選ばれて議長となり、今般会社継続をするに伴い、改めて当会社の代表取締役を選定したい旨を述べ、慎重審議した結果、全員一致をもって次のとおり選定した

なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号

代表取締役 〇〇〇〇

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、出席取締役及び出席監査役の全員がこれに記名押印する。

令和〇年〇月〇日

〇〇株式会社取締役会

代表取締役 〇〇〇〇 (印)

取締役 〇〇〇〇 (印)

同 〇〇〇〇 (印)

監査役 〇〇〇〇 (印)

(注) 1 取締役会の席上で被選定者が就任を承諾し、その旨の記載及び被選定者の住所の記載が議事録にある場合には、申請書に別途就任承諾書を添付することを要しません。

この場合、申請書には、「就任承諾書は、取締役会議事録の記載を援用する。」と記載してください。

2 出席した取締役及び監査役全員が、市町村に登録した印鑑を押し、それらの印鑑について市町村長が作成した印鑑証明書を添付することが必要です。

就任承諾書の例

就任承諾書

私は、令和〇年〇月〇日開催の貴社株主総会において、貴社の取締役（注1）に選任されたので、その就任を承諾します。

令和〇年〇月〇日

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号

〇〇〇〇 印 （注2、3）

〇〇株式会社 御中

- （注） 1 代表取締役、監査役についても同様に作成します。
2 代表取締役については、就任承諾書に市町村に登録した印鑑を押す必要があります。
3 代表取締役については市町村長が作成した印鑑証明書、取締役及び監査役については住民票記載事項証明書等の本人確認証明書をそれぞれ添付することが必要です（市町村長が作成した印鑑証明書を添付する役員については、当該印鑑証明書の添付で足りる。）。

委任状の例

委 任 状

○県○市○町○丁目○番○号
○○○○

私は、上記の者を代理人に定め、下記の権限を委任する。

記

- 1 当会社の清算人及び代表清算人の就任、会社継続、取締役、代表取締役、監査役の変更、及び取締役会設置会社の定めの設定の登記を申請する一切の件
- 1 原本還付の請求及び受領の件 (注1)

令和○年○月○日

○県○市○町○丁目○番○号
○○株式会社

代表取締役 ○○○○ ⑨ (注2)

- (注) 1 原本還付を請求する場合に記載します。
2 代表取締役が登記所に提出している印鑑を押してください。